

境島村渡船アンケート調査結果

(1) 調査概要

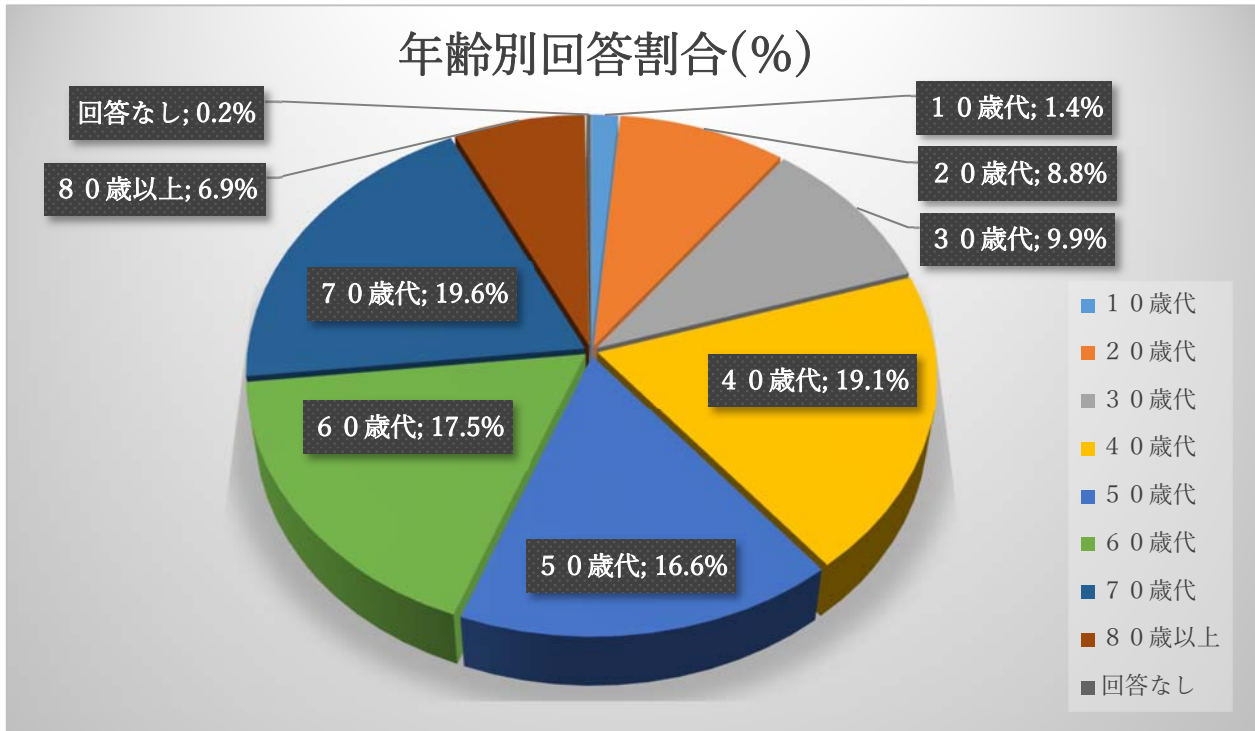
境島村渡船のあり方について検討するため、伊勢崎市居住者を対象に境島村渡船に関するアンケート調査を実施しました。

調査日	令和3年10月1日 から 令和3年10月31日まで
調査対象	調査地域：伊勢崎市全域 調査対象：伊勢崎市在住の満18歳以上の男女 調査対象数：住民基本台帳から1,000人を無作為抽出
調査方法	配布：郵便による配布 回収：返信用封筒による郵送回収
回収数	1,000人の内 434人の方から回答がありました 回収率は 43.4% です
質問項目	問1：年齢 問2：渡船の認知 問3：利用の有無 問4：利用頻度 問5：利用目的 問6：今後の利用意向 問7：今後の利用目的 問8：利用者の費用負担 問9：渡船の今後 自由回答欄

(2) 調査結果

問1 あなたの年齢をお答えください。(〇は一つ)

回答いただいた年代は、40歳代~70歳代の割合が多く、回答数の約72%を占めています。



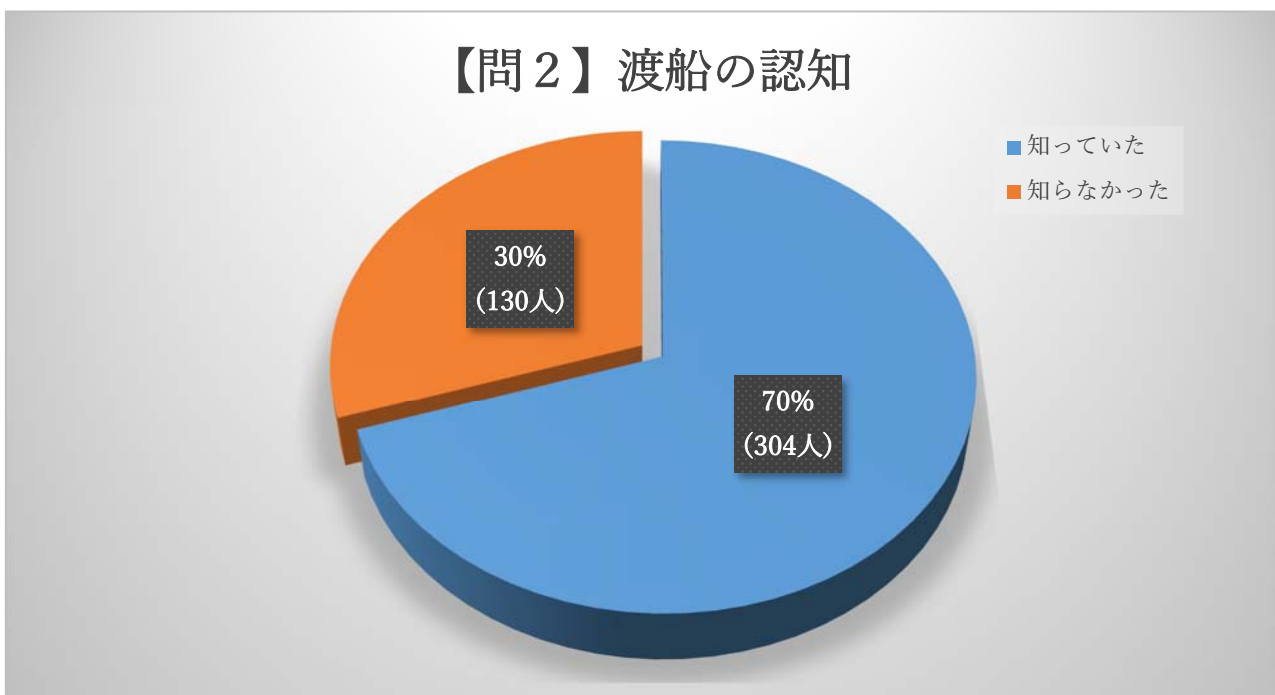
年代別回収率 (回収数/配布数)

	合計	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	回答なし
回収数	434人	6人	38人	43人	83人	72人	76人	85人	30人	1人
回収率	43.4%	21.4%	30.6%	31.9%	44.9%	44.4%	53.9%	57.0%	39.5%	—

■ 境島村渡船の利用についておたずねします。

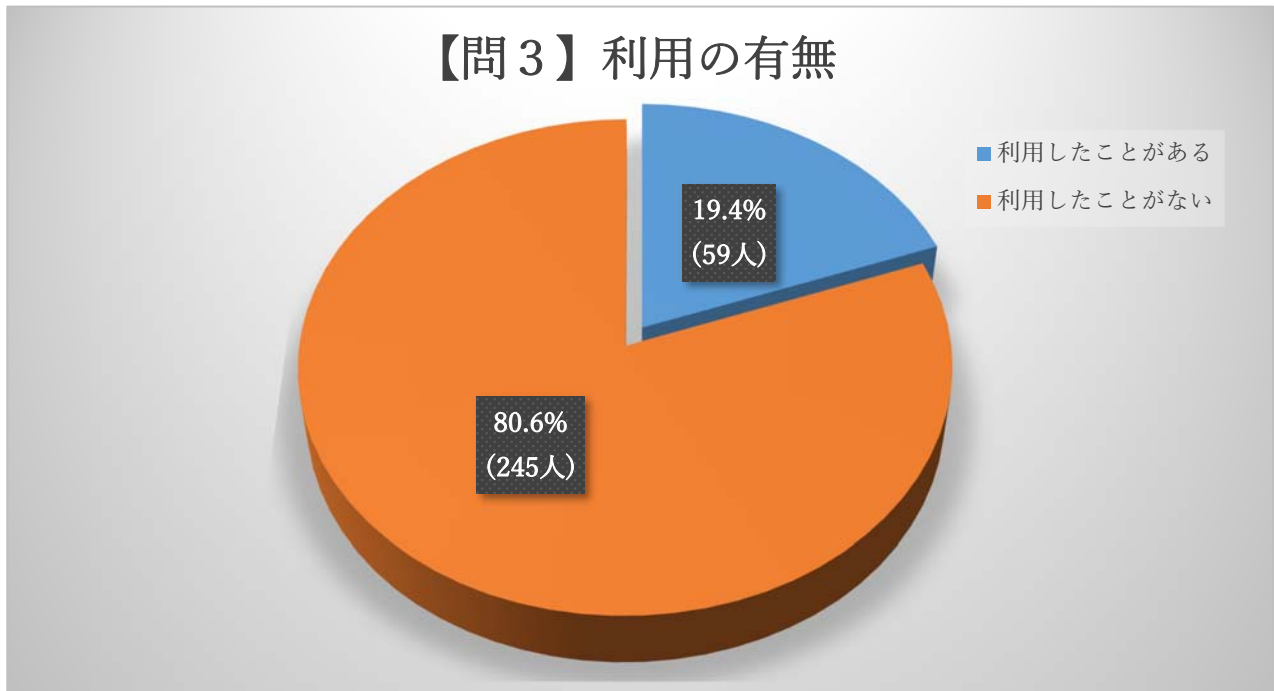
問2 境島村渡船のことを知っていましたか。(〇は一つ)

約70%の方が渡船を知っていたが、約30%方は知らなかったことが確認できます。



問3 境島村渡船を利用したことがありますか。(〇は一つ)

渡船を知っている方の約19%の方は渡船を利用したことがあります、約80%の方は利用したことが無いと回答されています。



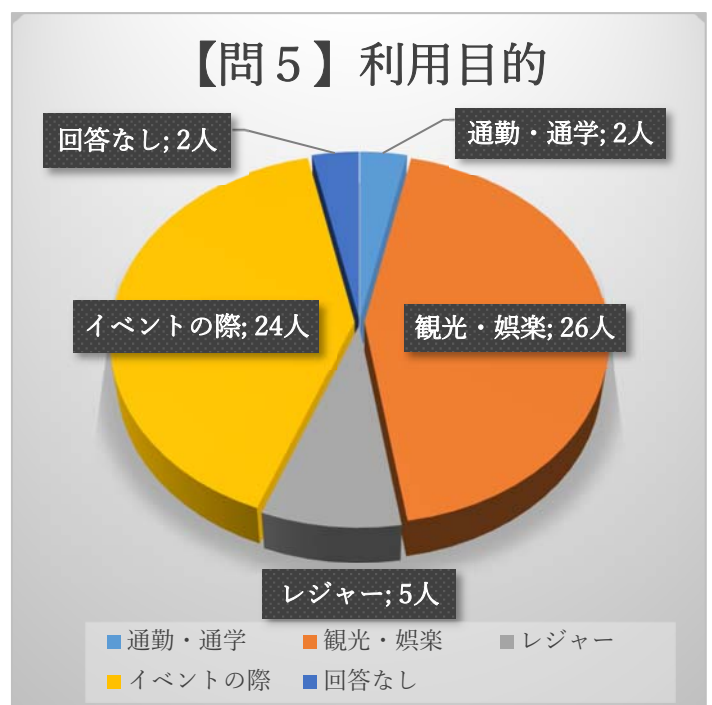
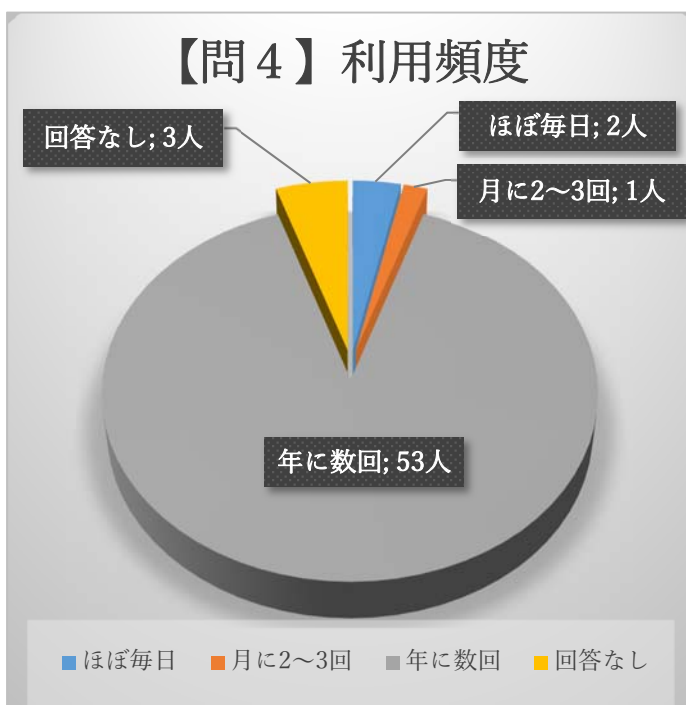
問4 どのくらいの頻度で利用していましたか。(〇は一つ)

問5 利用した目的を選んでください。(〇はいくつでも)

○【問4】利用頻度では、「年に数回」の利用者が約90%を占め、「年に数回」の利用者を年代で見ると、50歳以上の方が約73%を占めています。

- ・「ほぼ毎日」利用していた2名の方は、70歳代の方で、「通勤・通学」に利用されていた方です。
- ・「月に2～3回」利用した1名の方は、20歳代の方で、「観光・娯楽（史跡田島弥平旧宅、利根川水辺プラザ公園など）」を利用されていた方です。

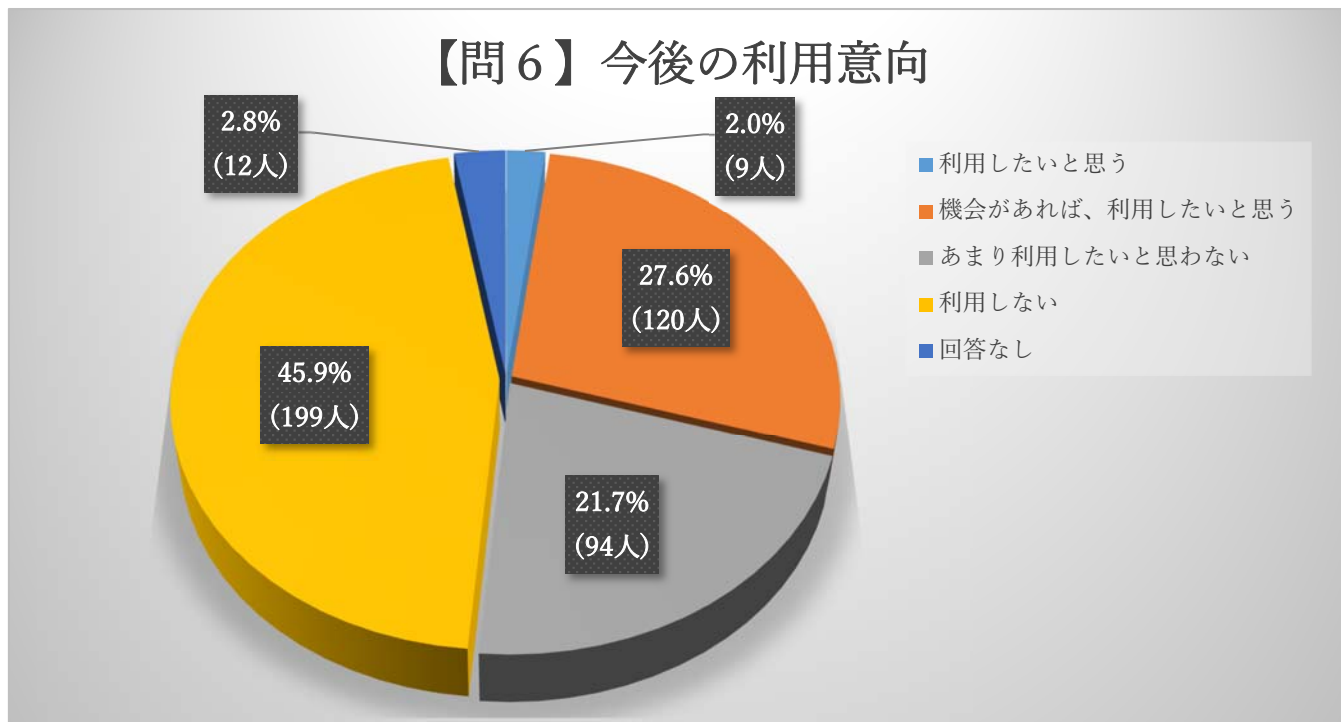
○【問5】利用目的では「観光・娯楽」「イベントの際」の利用者が約85%を占めています。



■ 境島村渡船の今後についておたずねします。

問6 境島村渡船を今後も利用したいと思いますか。(〇は一つ)

○「あまり利用したいと思わない」「利用しない」と回答した方が、約67%を占めています。



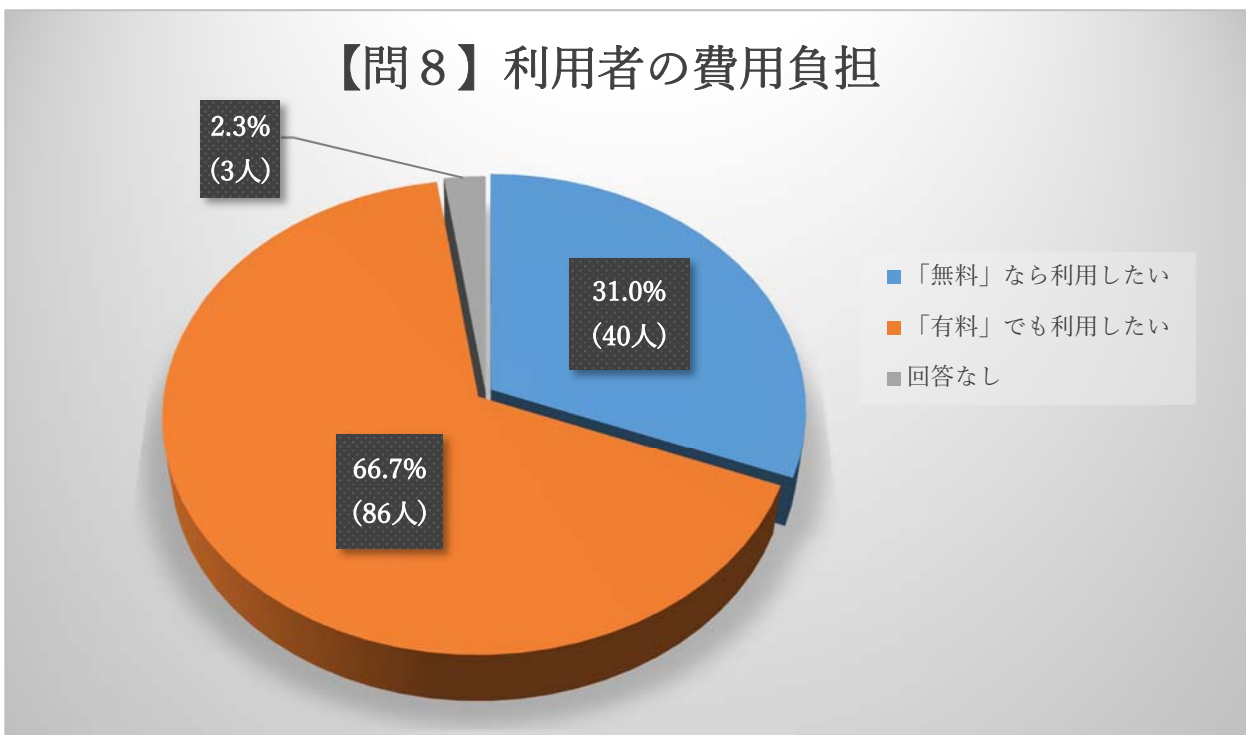
問7 どの様なことのために境島村渡船を利用したいかを記載してください。

《主な回答内容》

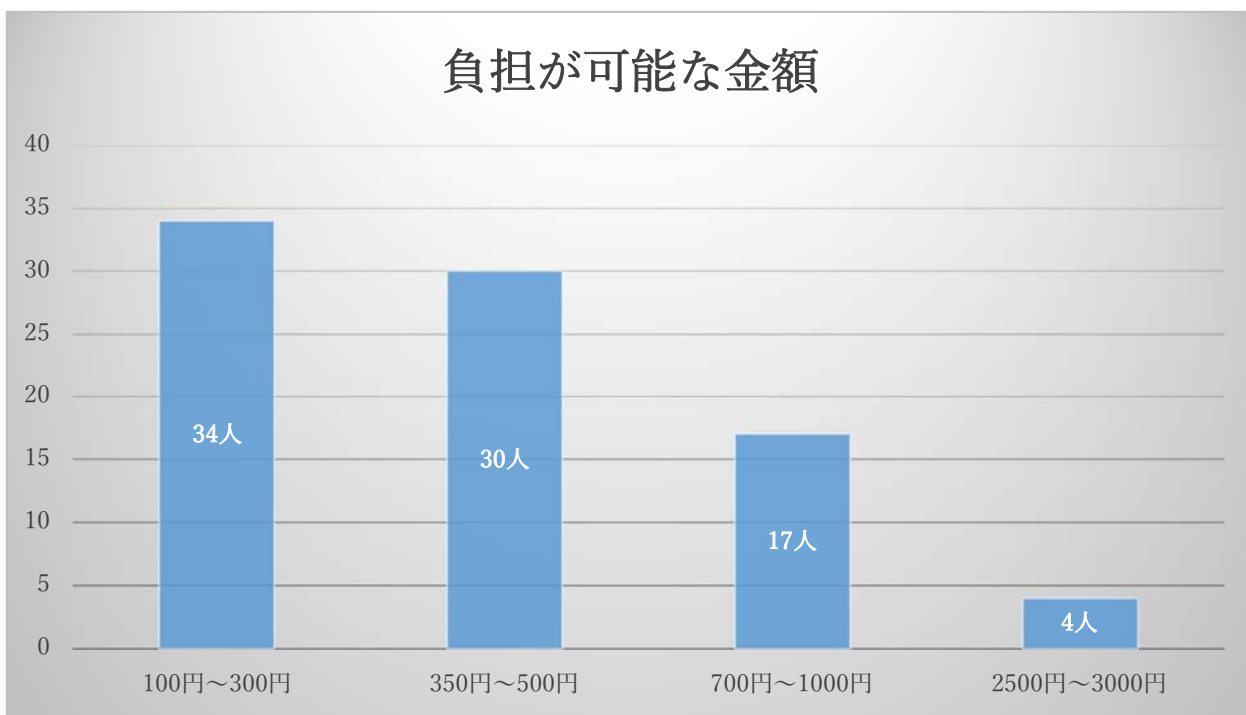
観光(娯楽)目的 (25人)	<ul style="list-style-type: none"> ・観光・遊び的に一度の利用したい ・世界遺産を見に行くため ・観光の一つとして ・文化遺産、田島弥平旧宅との連携として
イベント等で (22人)	<ul style="list-style-type: none"> ・イベント等での乗船体験として ・田島弥平旧宅見学や渡船フェスタに参加時に ・イベントなどで子供に体験させたい ・世界遺産巡りと併せて
子供(孫)と体験 (17人)	<ul style="list-style-type: none"> ・子供たちを乗船させて体験させてあげたい ・小学生の娘にその歴史的なことを教えたい ・伝統や文化を子供に体験で伝えたい ・渡船の歴史を孫達と共有したい
渡船を体験 (12人)	<ul style="list-style-type: none"> ・県外からの友人が来た時などに利用したい ・渡船を通じて、自然や歴史を体験したい ・乗ったことがないため体験してみたい ・地域学習のために利用したい

問8 利用する場合、費用の負担があっても利用したいと思いますか。(〇は一つ)

「利用したいと思います」人のうち、約66%の方が「有料」でも利用したいと考えていることが確認できます。

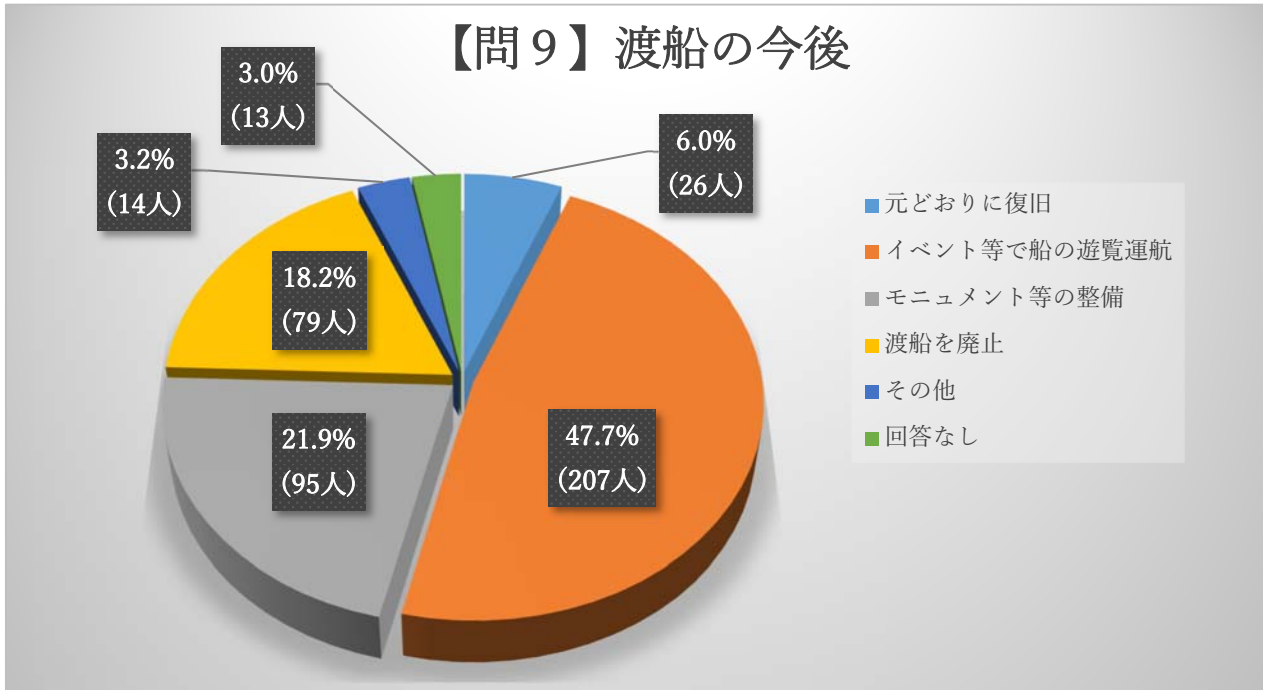


有料で利用する際に負担が可能な金額として、100円～1000円の範囲で負担してもよいと、考えている方が大半を占めています。



問9 台風被害を受け現在運休している境島村渡船を、今後どのようにするのが望ましいとお考えですか。（〇は一つ）

「渡船としての運航は行わず、イベント等で船の遊覧運航を行う」の回答が多く、約47%の方が「イベント等で船の遊覧運航」が望ましいと回答されています。



《その他の主な回答内容》

運航経費	<ul style="list-style-type: none"> • お金の使い方は考えるべき • 費用をかけなくても運行できる方法を検討する • 自然災害を考慮すると継続にかかるコストはやや割に合わない • さまざまな費用をイベント収益でまかなえる見込みがあるなら良い
生活道路	<ul style="list-style-type: none"> • 通学に使うことがあるのなら渡船としても運航は行ってほしい • 生活にどうしても必要なら残す必要がある • 廃止が望ましい • 利用する人が大勢いれば運航をお願いします

自由回答 「境島村渡船」の今後についてご意見やご要望がありましたら、具体的にご記入ください。

《主な回答内容》

<p>渡船を残す</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の老人達や子供を集めてふれあわせてあげるイベント等の実施 ・イベント等で体験するという特別感で遊覧運航をするのが望ましい ・季節・期間やイベント等の運航を、有料化して少しでも運航費用に充てる ・イベント観光等で、民間企業で運航してもらえる所を探す ・世界遺産田島弥平旧宅の、観光の一部として活用する ・絹遺産群と連携する ・歴史あるものなので存続させる事が大事だとは思う ・伝統や文化や歴史を学ぶ教材として残す ・小・中学生の遠足や校外学習に活用する ・負担の無い方法で今後も残すのが良い ・必要としている人が1人でもいる限り、復旧は必要だと思う ・クラウドファンディング等、有志の方で運航すればよいと思う
<p>モニュメント</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史に残す必要性はあると思うので、モニュメント作製を希望する ・現況を考えるとモニュメントがいいのかなと思う ・そこに渡船場があって、何年～何年まで利用していたなどの看板をたてたら良いと思う ・地域の歴史を伝えるために何かしらの形で残してもらえたら良いと思う ・永年にわたる功績を記録に残し、その偉業を後世に伝えるべく記念碑を現地に作成する ・レガシーとしてモニュメントを整備して、その事実を後世に伝えれば良いと思う
<p>渡船廃止</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生活道路の利用者が少ないのであれば、市としての運航は廃止して良いと思う ・本来の目的がなくなったことから継続、存続していくのは、いかがなものか ・役割を終えているのであれば、税金を使って存続すべきものとは思わない ・観光として行う予定がないのであれば必要ないと思う ・イベントでの遊覧運航でも費用がかかることを考えると、なくしても良いと思う ・客観的、費用効果を考慮すれば廃止が妥当だと思う ・年にかかる費用の負担にみあう利用価値があるとは思えない ・無駄に不必要に残すことはないと思う ・車を使って行き来できるので、渡船は必要ないと思う ・もっと必要な所へ、その費用を運用した方が良いと思う ・渡船の役目は終わっていると思う
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・海なし県では、船に乗る機会は貴重なので、孫たちを是非乗せたい ・伝統的なものなので安易に経済面だけで廃止等は考えるべきではないと思う ・多くの人に興味を持ってもらえるよう、努めるべきではないかと思う ・コロナ禍で渡船よりもっと優先すべきことがあると思う ・昔からの伝統ある行事等はできる限り残してほしい ・税金は有限であるのでもっと有意義なことに利用すべきと考える ・イベント等で船の遊覧運航を行っても人がすごく集まるとは思わない

※他にも貴重なご意見をいただいています。頂いたご意見を今後の道路行政に活かしてまいります。